

第17回災害対策本部会議における知事コメント

令和8年熊本地震が発生してから10日が経過しました。改めて、お亡くなりになられた方々に心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されたすべての県民の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

現在は、避難されている方々の命と健康を守り、生活再建へとつなげていく段階に入っています。

避難所支援から罹災証明や住家被害認定業務へと拡大する局面で被災市町村の人的支援が極めて重要です。本日付けで県外から563名、県内市町村・県から162名という多数の職員を派遣いただいております。関係する皆様に改めて感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます

先ほど、環境生活部並びに環境省からお話がありましたように、被災者の生活再建を進めるうえで重要となる災害廃棄物の処理について、環境省・熊本県・熊本市が共同で「災害廃棄物支援調整本部」を立ち上げました。被災市町村の人的支援の調整等を行うことで、災害廃棄物の処理を迅速かつ効率的に進めて参ります。

また、「ホテル等避難」について、明日の午後1時に専用コールセンターを開設します。希望する皆様が速やかにホテルに入ることができるよう、マッチングを迅速に進めて参ります。

そして、被災された方々に一日でも早く建設型応急仮設やみなし仮設などの応急的なお住まいに避難所などから移っていただくために、本日、県庁内に「すまい対策チーム」を設置しました。専任の職員を配置し、すまいの再建に向けた取組みを加速して参ります。

心配していた台風については、熊本への影響は大きくないということで、少し安心しています。しかしながら、万が一を想定した備えが重要です。本日は八代市に加え、宇城市においても、県建設業協会や自衛隊等と連携して、ブルーシートを張る作業を実施しています。風が強くなっていますので、ご自身では無理をされずに、ぜひ業者等へ依頼されてください。

そして本日、政府において、今回の熊本地震を「激甚災害の本激」と「特定非常災害」に指定することが決定されました。政府の迅速な対応に感謝申し上げるとともに、復旧・復興に向けた取組みを、より一層加速して参ります。

また、昨日、宇城市で林野火災が発生しましたが、自衛隊、消防、警察など関係機関の皆様と連携して、迅速に鎮圧することができ、本日15時30分に正式に鎮火となりました。人的被害もありませんでした。地震対応にご尽力いただいている中で、消化活動にもご対応いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

地震に加え、酷暑や台風、山林火災など、私たちは様々な困難に直面しています。しかしながら、今、熊本は、国、市町村、様々な関係機関の皆様と、これまでで一番と言っていいほど、強固な連携体制、そして信頼関係が構築できていると確信しています。

引き続き、ワンチームとなって、県民の皆さまのために頑張っていきましょう。よろしくお願いいたします。